

「九条の会」8月例会

8月26日(土) 午後2時～4時
高洲コミュニティセンター・講習室1

映画とお話

「いわさきちひろ ～27歳の旅立ち～」

誰もが知っている絵本作家の、誰も知らない波
乱の人生。27歳一ツイチ 家なし 職もなし。
いわさきちひろ、愛と不屈の物語

どなたでも参加できます。

参加費：資料代(300円カンパ)

主催「高浜九条の会」・協力「高洲・九条の会」

—これからの行動予定—

- 8月26日(土)午後2時～4時 8月例会
[高洲CC] (上記参照)
- 9月3日(木) 12:45～「3の日行動」『ア
ベ政治を許さない』ポスターの全国一斉掲
示のスタンディング行動 [稲毛海岸駅前]
美浜の会の共同行動【小雨決行】(検見川浜
駅前でも実施します)
- 9月9日(土) 稲毛海岸駅前での定例宣伝
行動「9の日行動」は都合で中止します。
- 9月12日(火) 9時半～11時「高洲・九
条の会」世話人会 [高洲CC] (関心のある
方、ご参加ください。毎月第2火曜日開催)
- 9月19日(火) 12:45～「19の日行動」
[検見川浜駅前]「磯辺九条の会」定例宣伝
行動 美浜の会の共同行動【小雨決行】
- 9月22日(金) 午後1時半～3時 高洲九
条の会 9
月例会
[高洲
CC]

残暑お見舞い
申し上げます

アベ「9条改憲」を阻む かつてない共同を!

11月11日開催の第11回「美浜区平和と文化
のつどい」の講師としてお呼びしている一ツ橋
大学名誉教授の渡辺 治さん(九条の会事務局)
が「5月3日のアベ改憲提言は、アベ改憲の前
に立ち塞がった3つの困難を打開するための自
民党の切り札である。戦後日本の最大の岐路が
やってきた。アベ改憲を阻むために、大きな共
同を急いで立ち上げよう」と呼びかけています。
以下、その骨子をご紹介します。

1. 戦争法反対の共同がアベ改憲にもたら した3つの困難

戦争法反対・廃止の共同は、アベ改憲に
次の3つの困難をもたらした。

- ①自民党改憲派が改憲多数派形成として期
待してきた民進党が、「アベ政権の下」とい
う限定付きながら、ハッキリと反対を表明
したこと。
- ②共同が選挙共闘まで発展したため、次の
総選挙で野党共闘が成立すれば、2/3はお
ろか、過半数さえ危うくなる危険が生じた
こと。
- ③改憲の多数派形成のためには、自民党改
憲草案を土台にはできなくなったこと。

アベ 5・3 改憲提言は、この困難打破の
ために現行の議席のある内に改憲を強行し
ようとし、そのために公明党と維新の会の
抱き込みを図り、公明党の9条「加憲」、維
新の会の教育無償化を提案して、自民党改
憲草案を引っ込めた。

2. 都議選の結果が、アベの思惑を変えた

しかし、都議選の結果は、アベ政治への
都民の不信が爆発し、アベの思惑を大きく
狂わせるものとなった。アベ改憲をめぐる
攻防、アベ政治を変える私達の闘いにも重

戦争法 廃止！

大なる問題を投げかけた。アベ政治に代わる選択肢が、市民と野党の共同しかあり得ないことを国民の前に明確に掲げる必要と緊急性が明らかになった。

その象徴は都民ファースト票に現れている。都民は決してアベ政治に変わる選択肢を都民ファに託したわけではなかった。選択肢が示されなかったことで、仕方なく都民ファに流れ込んだ。都議選後から1週間後の朝日世論調査では、「自民党に対抗できる政党は必要と思うか」という問いに対し、82%がイエスと答えたが、一方、「都民ファが国政に進出して欲しい」は42%で、「欲しくない」の36%と拮抗した。つまり、国民は都民ファを国政レベルでアベ政治に代わる選択肢として認めていないのだ。



3. 一回りも二回りも広げた共同への提起

困難に遭遇し、支持率の急降下のアベの決意はそれでも固く、改憲へと突っ走るであろう。このアベ改憲を止めるには共同の運動しかない。そして、この共同の力しかアベ政治を変える選択肢にはなり得ない。私達の方向は明瞭である。戦争法反対・廃止の共同の経験を踏まえ、それを一回りも二回りも広げた共同を、それも急いで立ち上げることが必要だ。

そのために、3つのことを提起したい。

①9条加憲にはさまざまな意見があるが、“アベ政権の目指す改憲は戦争への道”という点で集まろう。②戦争法反対の共同はアベ政権に大きな動揺を与えたが阻止はできなかったことから、もっと広い共同を作らねばならない。③国民投票をも視野に、有権者の過半数の獲得を目指す署名を提起すべきである。

4. アベ政治を変える展望が拓ける

アベ改憲を阻むには、アベ政権がもくろむ18年通常国会での改憲発議をさせないことだ。発議を阻めば、アベ政権は解散、総選挙に打って出るか総辞職しかない。アベ政権を引きずりおろす絶好のチャンスが訪れる。アベ政権を倒せば、改憲の企てが挫折を余儀なくされるだけでなく、アベ政治を変える展望が拓ける。

都議選で都民が求めたアベ政治に代わる選択肢は、アベ改憲を阻む共同の運動の中で各野党が成長し、1回り大きくなることを通じて初めて可能となる。（「全国革新懇ニュース」391号より） (TAM)

○この渡辺 治さんが来る11月の「平和と文化のつどい」で『今、憲法が危ない！いまこそ憲法を守り活かそう！』と題してお話しされます。是非お出で下さい。

・アベ9条改憲を阻むために、私達がすべきことは、アベの狙いをキチンと理解し、その上で多くの人々に広めて、大きな共同を作っていくことです。是非渡辺さんの講演を聞きにお出でください。

○“つどい”について、詳しくは折り返みのチラシをご覧ください。なお、参加券の販売を始めます。事務局および世話人にお申し込み下さい。例年通り、1000円です。

また大学生以下は無料です。なお、整理上予め参加券をお申し込み下さい。

「原爆と千葉空襲 写真展2017」 (報告)

8月4日から6日までの3日間、地域恒例の「原爆と千葉空襲 美浜区写真展」が、高洲コミュニティセンターで開催されました。写真展は、延べ936人の方々がご覧なり、また「被爆体験談」そして映画「夕凧の街 桜の国」にはそれぞれ30名余の方々が参加されました。今回は第19回目に当

平和・民主主義・立憲主義を 取り戻しましょう！



たりますが、直前の7月に国連で、画期的な「核兵器禁止条約」が採択され、そのため人々の関心が高かったように思えます。写真展を運営する実行委員会構成団体のメンバーも多くの方々が支援に参加してくれましたが、正しく、核兵器禁止条約が、私たちに力を与えてくれたように思われます。今回は、写真パネルの一角に「ヒバクシャ国際署名」コーナーを設け、立ち寄った多くの方々に署名をお願いしました。約150筆の賛同署名が集まりました。またカンパも2500円集まり、これに実行委員会の寄付金を加えて、今回ご協力を頂いた、千葉県被爆者友愛会に届けました。寄せられたアンケートには、「身近な場所で開催される貴重な写真展」「継続して欲しい」「これからも多くの子供たちに見せて欲しい」という希望が綴られていました。戦争・原爆を知らない人が年々増える中、写真展の継続が一層必要となっています。地域の民主団体によって、19年前に始められた写真展も、来年は20年の節目を迎えます。核兵器廃絶の願いがさらに高まる中、平和を考える上で益々この写真展が大切な催しとなってきています。もっと多くの子供たちに見て貰うような工夫を重ねながら、来年を目指したいと思います。 (事務局 TAM)

福島原発事故を忘れない！

—活動報告(7月のとりくみ)—

●7月の「3の日行動」(7/3)：稲毛海岸駅前には7名が集い、『アベ政治を許さない』を掲げました。

●7月の「9の日行動」(7/9)：熱中症を心配させる程の暑い真夏日のこの日は、大事を取って30分で切り上げました。通りかかった磯辺在住のご婦人が1000円カンパを寄せてくれました。訴えを立ち止まって聞いていた男性が近寄って話しかけてきました。アベ政治の無茶苦茶さと危険性、高齢者が奮闘していることへの敬意、等を話してくれました。「高洲・九条の会」便りを渡し、理解と賛同を訴えました。ちらし30枚配布。参加者4名

●7月例会(7/21)：学習会「安倍9条明文改憲の狙いは何かII」に、急遽、渡辺保雄さんが自ら講師をかってでてくれ、渡辺さんを囲んでの学習会となりました。渡辺さんは、「アベ9条改憲の狙い」を、明快で分かりやすく、話した上で、アベ改憲をストップさせる手がかりを示してくれました。それは、①アベ首相を退陣させる、②国政選挙で改憲勢力を2/3以下にする、③改憲派を国民の多数派として、国民投票を諦めさせる、ことです。その後参加者と質疑応答し、理解を深めました。参加者5名。

—他の会等のこれからの催し—

●“市民ネットワークみはま”の「美浜 憲法カフェ」①8月はお休みです。②9月からの憲法カフェはお引越しです。原則第2月曜日(10時半～12時) [会場：地域交流スペース 渚(千葉市美浜区真砂5-21-12)]

●8月31日(木)10時～「憲法はじめの一步～おしゃべりカフェ～」 “憲法9条と自衛隊2”高橋 高子弁護士 参加費700円(おいしい三年番茶つき) [cafe どんぐりの木

アベ政権 退陣！

(高洲 1 - 16 - 46、TEL:043-301-2439、
<http://dongurinoki.info/>)]

●9月16日(土)18時～20時 千葉9区市民連合緊急学習会「安倍総理が提案する9条改憲のねらいは？」講師：高橋 勲弁護士 [千城台コミュニティセンター] 無料

●9月19日(火)18時半～ 総がかり行動戦争法強行採決から2年、戦争法の廃止と安倍内閣退陣を求める9・19国会正門前行動 [国会議事堂正門前]

●9月30日(土)午後6時半～8時半「アベ改憲を許さない！9・30千葉県民集会」講師：渡辺 治さん(一ツ橋大学名誉教授) [千葉市民会館大ホール] 無料

「事務局より」

〈報告1〉「千葉1区市民連合」について

安保法制の廃止、立憲主義の回復、個人の尊厳の擁護のための政治の実現を目指し、そのために野党共闘を推進する「千葉県市民連合」が1月に結成され、その後13の千葉小選挙区すべてに各区市民連合が結成されています。“美浜区・中央区・稲毛区”の「千葉1区市民連合」は4月に発足しました。現在、賛同者の拡大に取り組んでいます。リーフレットを小紙に折り込みましたので、ご賛同の方は事務局にお届け下さい。1区独自の政策を取りまとめる取り組みとして、『政策ワークショップ』(9月10日午後1時半～、千葉市生涯学習センター)を開催します。奮ってご参加ください。

〈報告2〉「美浜の会」について

「高洲・九条の会」も参加する「戦争法制に反対する美浜の会(通称・美浜の会)」が昨年3月発足し、以後毎月「3の日行動」「9の日行動」「19日行動」を共同行動として取り組んでいます。一昨年の9月19日のアベ政権による戦争法強行採決を忘れないとの思い、同時に広く区民に訴えるために、9月18日(月・祝)に、高洲コミ

ュニティセンターの3階ホールで初めての「学習講演会」を開催します。詳細は折り込みのチラシをご覧ください。

■戦後72回目の夏がやってきました。平和を願い、戦争を繰り返さない、という私達の思いとは別に、とてもキナ臭い発言が相次いでいます■内閣改造で代わった小野寺防衛相は、「敵基地攻撃能力を検討する」と憲法9条を無視し、自民党政府のこれまでの方針すら逸脱する先制攻撃を平気で口にしています。また、北朝鮮のグアムへのミサイル発射計画に対して、「米側の抑止力・打撃力が欠如することは、日本の存立危機に当たる可能性が無いとは言えない」と述べ、戦争法に基づき集団的自衛権を行使しての迎撃は可能との見解を示しました。危険な事態です■過熱化する米朝のやり取りが戦争を懸念させます。「戦争は絶対いけない」が9条です。今こそ、9条を守り、活かさせましょう。「九条の会」はそのために、10月に「全国交流討論集会」の開催、新ポスターの作成、そして6月の学習会「安倍9条改憲は戦争への道」のパンフの普及に取り組んでいます■急降下したアベ政権支持率が、内閣改造後多少上がったものの(前回から3割増えて)42%、一方、不支持率はこれを大きく上回る49%(「日経」)。不支持の最多理由は「人柄が信頼できない(48%)」今、アベ退陣に追い込む絶好のチャンス。野党と市民の共同、野党の共闘を推進し、大きな共同を作りましょう。「市民連合」の頑張りです■「便り」へのご意見・投稿をお待ちしています。(TAM)



田中 優さん(高洲)

九条の会 <http://www.9-jo.jp/>